

岩手県告示第207号

車両制限令（昭和36年政令第265号）第3条第1項第3号の規定に基づき、通行する車両の高さの最高限度が4.1メートルである道路を次のとおり指定し、併せて、同令第10条第1項の規定に基づき、当該道路を通行する高さが3.8メートルを超え4.1メートル以下の車両の通行方法を次のとおり定める。

平成25年3月26日

岩手県知事 達 増 拓 也

1 指定する道路の種類、路線名及び区間

種類	路線名	区間
一般国道	107号	奥州市江刺区梁川四ツ嵐288番2地先から字石刃73番1地先まで（別紙図面のとおり。）
県道	紫波インター線	紫波郡紫波町上平沢字東馬場65番2地先から桜町字浦田58番1地先まで

2 指定する期日 平成25年4月1日

3 通行方法 1の道路を通行する高さが3.8メートルを超え4.1メートル以下の車両は、次の通行方法によらなければならない。

- 走行位置の指定 トンネル等の上空障害箇所では、車両又は車両に積載する貨物が建築限界を侵すおそれがあるので、車線からはみ出さないように走行するとともに、道路に隣接する施設等に入入りするためやむを得ず車線からはみ出す場合は、標識、樹木等の上空障害物に接触しないよう十分に注意すること。
- 後方警戒措置 後方車両に対し十分な車間距離を取らせ、交通の危険を防止するため、横寸法0.23メートル以上、縦寸法0.12メートル以上（又は横寸法0.12メートル以上、縦寸法0.23メートル以上）の地が黒色の板等に黄色の反射塗装その他反射性を有する材料で「背高」と表示した標識を、車両の後方の見やすい箇所に掲げること。
- 道路情報の収集 道路の状況は、工事の実施等により変化することがあるので、あらかじめ道路情報を収集し、上空障害箇所のないことを確認の上走行すること。

備考 「別紙図面」は、省略し、岩手県県土整備部道路環境課及び県南広域振興局土木部に備えておいて縦覧に供する。